【 検査 】

536 HB e 抗原及びHB e 抗体の算定について

《令和7年5月30日》

○ 取扱い

- ① 次の傷病名に対するD013「4」HB e 抗原及びHB e 抗体の算定は、原則として認められる。
 - (1) B型肝炎の診断時
 - (2) B型肝炎の経過観察
 - (3) B型急性肝炎
 - (4) B型慢性肝炎
 - (5) HBVキャリアのみ
- ② 次の傷病名等に対するD013「4」HB e 抗原及びHB e 抗体の算定は、原則として認められない。
 - (1) 肝機能障害又は肝障害のみ
 - (2) 肝炎疑いのみ
 - (3) 急性肝炎のみ
 - (4) 慢性肝炎のみ
 - (5) ウイルス性肝炎疑い
 - (6) B型肝炎疑い
 - (7) C型肝炎疑い
 - (8) C型肝炎の診断時
 - (9) C型肝炎の経過観察
 - (10) C型急性肝炎
 - (11) C型慢性肝炎
 - (12) 肝硬変疑いのみ
 - (13) 慢性透析患者に対する定期的検査

○ 取扱いを作成した根拠等

HB e 抗原はB型肝炎ウイルスの感染力の指標、HB e 抗体は病態鎮静化の指標であり、これらの検査は血中のウイルス量や増殖状況を把握する上で有用である。

以上のことから、①の傷病名に対するD013「4」HB e 抗原及びHB e 抗体の算定は、原則として認められると判断した。

一方、HB e 抗原・HB e 抗体測定の意義から、B型肝炎ウイルス感染の明確でない②の傷病名等に対するこれらの検査は無意味であり、原則として認められないと判断した。